

萩市 河川洪水ハザードマップ

蔵目喜川(高俣)

平成31年
3月



この図は国土地理院の基礎地図情報(数値標高データ)を加工したものです。

河川洪水ハザードマップについて

水防法の改訂に伴い「想定最大規模の降雨を想定した浸水想定区域図」などが新たに指定・公表されたことを受け「萩市河川洪水ハザードマップ」を改訂しました。
このハザードマップでは萩市で想定される大雨によって引き起こされる災害を知っていただき、対策を考え、もしものときに少しでも被害を軽減することを目的に作成しています。
このハザードマップには、蔵目喜川(高俣)が氾濫した場合の範囲とその水深を示し、避難場所や避難の際の危険箇所などを表示しています。

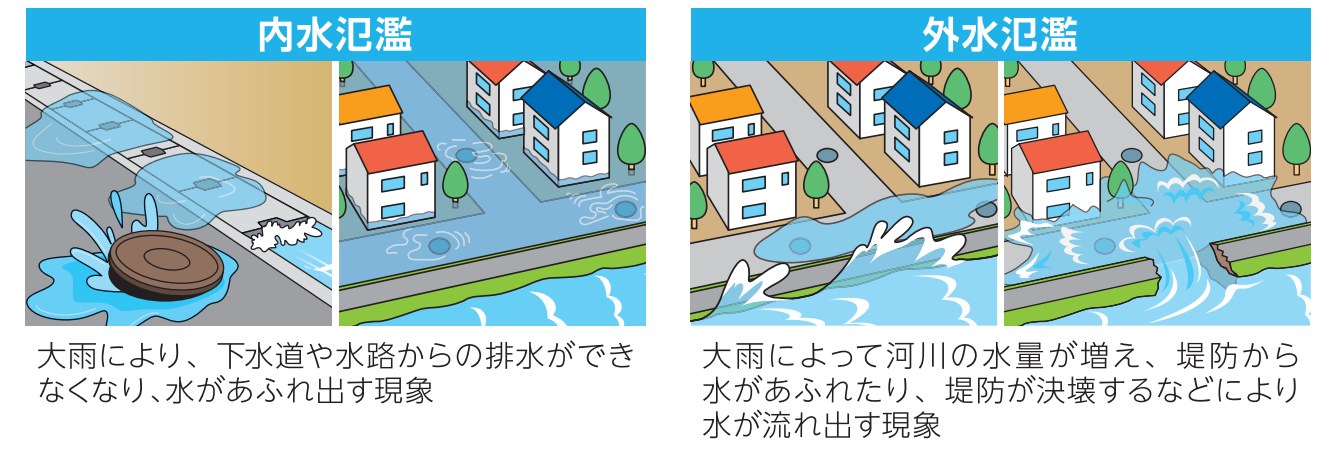
●利用にあたって注意して頂きたいこと●

浸水想定区域は、支川の(決壊による)氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫などを考慮していないため、浸水想定区域外への浸水や、実際の浸水が想定される浸水深よりも深くなる場合があります。
実際の水害時には、状況に応じて避難情報が出されますが、危険を感じた場合は細心の注意を払い、早めに自主避難を開始してください。

●連絡先	
萩市役所 総務部 防災危機管理課	TEL : 0838-25-3808 FAX : 0838-21-3501 E-Mail: bousai@city.hagi.lg.jp
むつみ総合事務所	TEL : 08388-6-0211 (代) FAX : 08388-6-0760
高俣支所	TEL : 08388-8-0211 FAX : 08388-8-0213

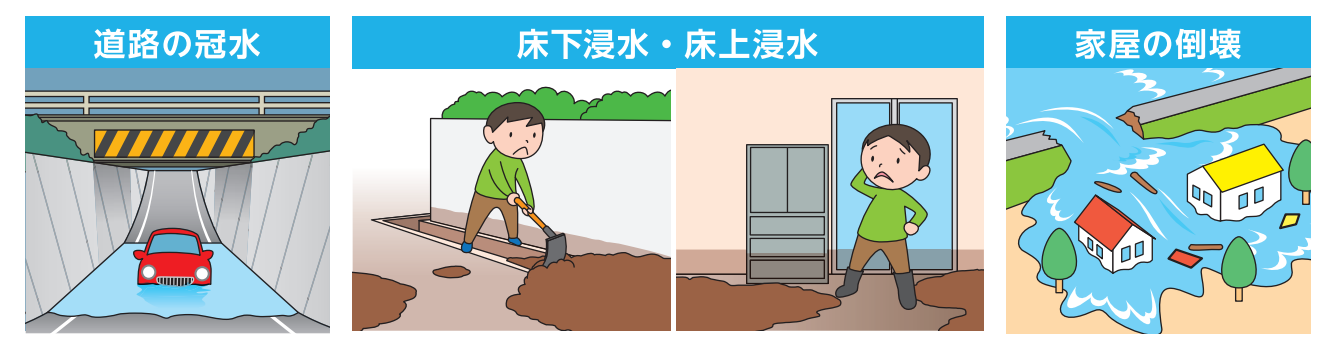
大雨によって引き起こされる災害

大雨が降り続くと水害や土砂災害が発生します。水害や土砂災害にも種類があるので、理解しておきましょう。あなたの家の周りでの災害が発生するのか、ハザードマップで確認しましょう。



大雨により、下水道や水路からの排水ができなくなり、水があふれ出す現象
大雨によって河川の水量が増え、堤防から水があふれたり、堤防が決壊するなどにより水が流れ出す現象

大雨が降り続くと...



エンジンが停止したり、ドアが開かないなど、車内から出られないことがあります。
流れこんでくる水は泥水であり、水が引いた後も土砂や汚泥が堆積するため、片付けが大変です。
河川沿いでは、家屋が倒壊し、命の危険性もあります。



急な斜面が突然崩れ落ちる現象
山から崩れてきた土や岩が、水と一緒に流れて谷を流れていく現象
傾きの緩い斜面が広い範囲にわたって滑り落ちていく現象
急傾斜地の崩壊の前兆現象
土石流の前兆現象
地すべりの前兆現象

避難の種類と行動

避難行動には「立ち退き避難」、「屋内安全確保」、「垂直避難」があります。

避難行動には、避難場所などへ避難する「立ち退き避難」、自宅など建物内の安全な場所で退避する「屋内安全確保」や逃げ遅れた場合に2階以上または危険のない近くの高い建物へ避難する「垂直避難」があります。



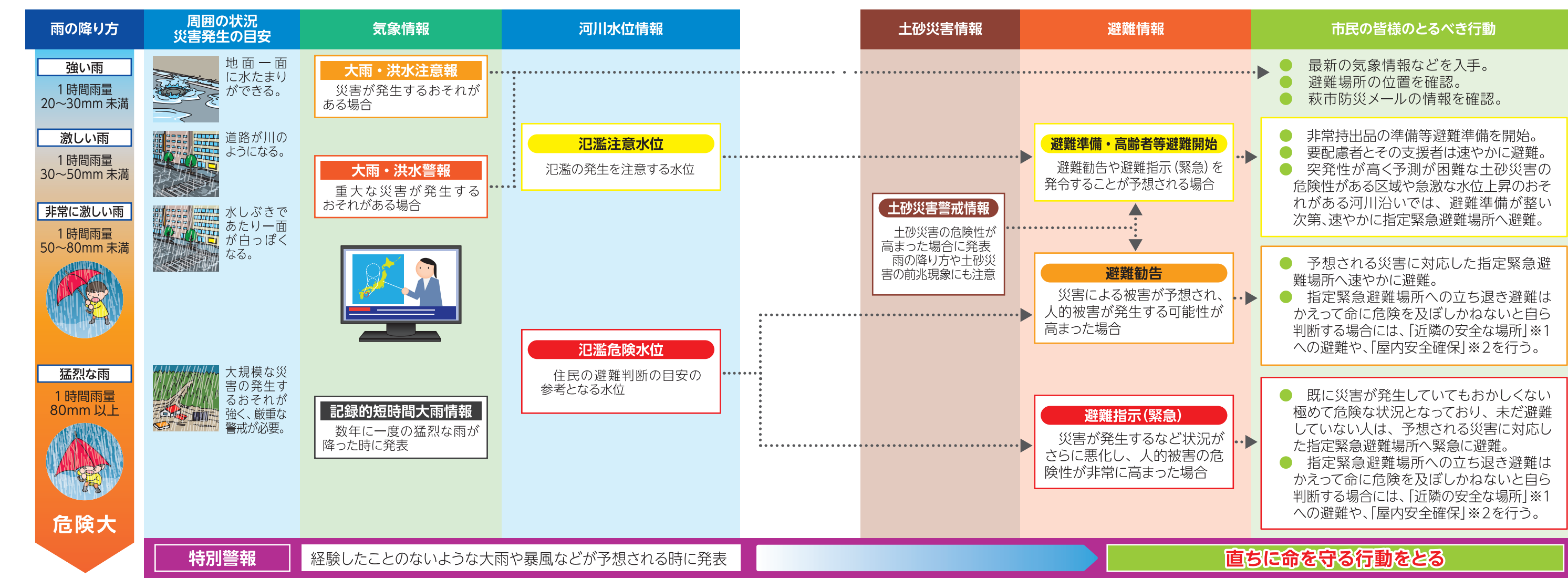
災害時には早めの避難が重要です。ただし、立ち退き避難の必要がある場合でも、避難が遅れずに避難経路が浸水しているなど、危険が間近に迫っている状況での無理な避難行動はできるだけ避けなければいけません。近隣の高い建物や自宅の2階以上の高い所へ垂直避難するという判断も必要です。
そのような場合は、命を守る最低限の行動をとりましょう。

避難時の心得



火の元(コンロ、暖房器具、タバコ、線香等)と戸締りを確認。電気はブレーカーを落として、親類や知人などに避難することを連絡しておきましょう。
長靴は脱げる危険があります。運動靴で避難しましょう。
浸水するときははもとにも歩けなくなります。ひざ下に水がくる前に避難しましょう。
地域での助け合い
行動は2人以上で家族や近所の人たちと一緒に行動しましょう。お年寄りや身体の不自由な人などの手助けをしましょう。
自動車は約30cmの浸水深で走行困難になります。自動車はもちろん自転車も厳禁!
マンホールや排水溝に吸い込まれる危険があります。

情報の種類と行動の目安

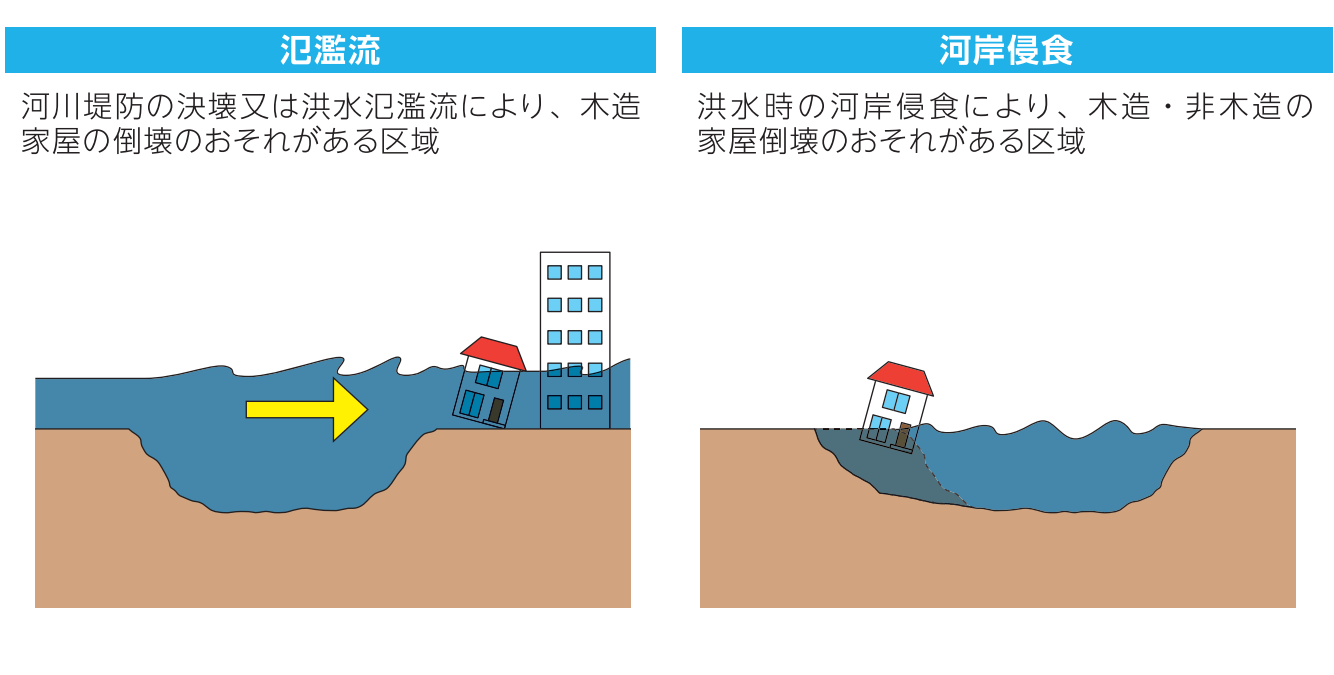


早期立ち退き避難が必要な区域及び浸水ランク別の避難行動

区域	避難行動	注釈
必早期な立ち退き避難が必要な区域	家屋倒壊等氾濫想定区域 家屋が浸水するおそれがある区域	家屋が倒壊するような氾濫流や河岸侵食が発生するおそれがあることから、早期立ち退き避難が必要。 最上階も浸水するおそれがあることから、早期立ち退き避難が必要。
その他の浸水想定区域	床上浸水または床下浸水が想定されることから、立ち退き避難が望ましいが浸水時に想定される状況を踏まえ、自らの判断により屋内安全確保も必要。	
浸水想定区域外		浸水想定区域内の住民等が避難してくることも考えられるため、避難の手助けを行う。

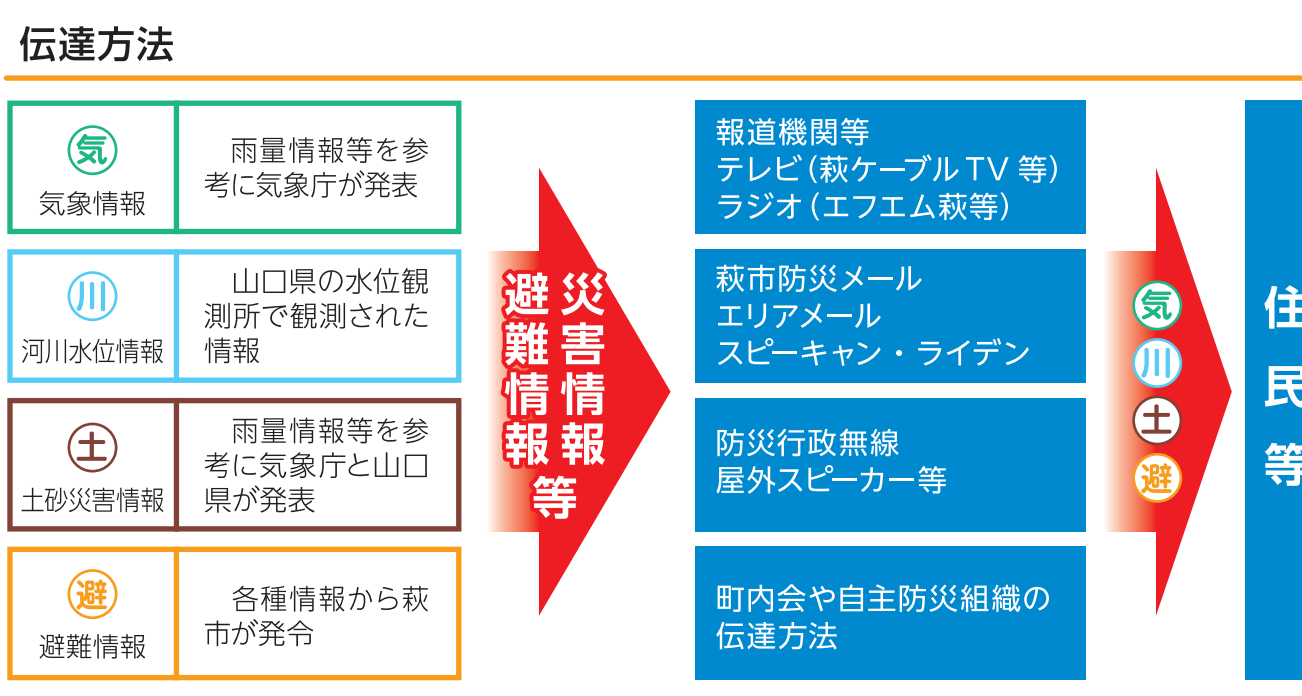
裏面のハザードマップを見て自宅の想定される浸水の深さを確認し状況に応じた避難を考えましょう。

家屋倒壊等氾濫想定区域



河川堤防の決壊又は洪水氾濫流により、木造家屋の倒壊のおそれがある区域
洪水時の河岸侵食により、木造・非木造の家屋倒壊のおそれがある区域

防災情報



- ### 伝達方法
- 気象情報: 雨量情報等を参考に気象庁が発表
 - 河川水位情報: 山口県の水位観測所で観測された情報が発表
 - 土砂災害情報: 雨量情報等を参考に気象庁と山口県が発表
 - 避難情報: 各種情報から萩市が発令
- ### 入手方法
- 防災行政無線等
 - テレビ・ラジオ
 - 町内会や自主防災組織の情報伝達体制
 - 萩ケーブルネットワークの地域情報チャンネル
 - 萩市防災メール
 - エフエム萩
 - インターネット
 - スマートフォン・タブレット・携帯電話

- ### 防災情報が収集できるホームページ
- 萩市ホームページ
 - 山口県防災危機管理課
 - 山口県防災ポータル
 - 山口県土砂災害ポータル
 - 下関地方気象台
 - 国土交通省「川の防災情報」
 - 山口県河川課
 - 津波災害警戒区域・浸水想定区域情報

※登録メールが届かない場合 xpressmail.jp@lg.jpのドメインから送信されるURL付きメールが受信できるように設定してください。設定方法: 取扱説明書や携帯電話販売店で確認して下さい。

配信情報確認用電話番号 050-5865-1562 (最新のメール情報が音声で確認できます)

※登録メールが届かない場合 xpressmail.jp@lg.jpのドメインから送信されるURL付きメールが受信できるように設定してください。設定方法: 取扱説明書や携帯電話販売店で確認して下さい。

登録方法 fhagi@vpressmail.jpに電子メールを送信すると、登録・変更メールが届きます。本文中のURLにアクセスして、必要事項を選択して登録して下さい。

登録方法
防災危機管理課または各総合事務所地域振興部門、支所、出張所へ各ご連絡ください。

連絡先

わが家の避難場所	いざというときの連絡先
家族の名前	会社・学校の連絡先
携帯番号	消防 119 警察 110

安否確認方法

災害用伝言ダイヤル(171) 災害用伝言ダイヤル(171)は、災害時にNTTより提供される「声の伝言板」です。使用方法を知っておきましょう。(※サービス開始は、テレビ・ラジオなどで通知されます)

録音の171▶1▶被災した家の電話番号▶伝言を入れる(30秒以内)▶ガイダンス(説明)がながれます。被災者は自宅の電話番号を、被災地以外の方は被災地の方の電話番号を市外局番からブッシュする。

再生の171▶2▶被災した家の電話番号▶伝言を聞く▶ガイダンス(説明)がながれます。被災者は自宅の電話番号を、被災地以外の方は被災地の方の電話番号を市外局番からブッシュする。

※携帯電話でも、「災害用伝言板」が利用できます。使い方をあらかじめ確認しておきましょう。
※災害時、緊急でない電話はなるべく控えましょう。 ※毎月1日、15日に体験利用ができます。1度体験してみてください。

災害用伝言板(web171) 災害用伝言板(web171)は、インターネットでできる災害用伝言板です。自分の安否情報を登録することができ、インターネットなどを通じて、登録された安否情報を家族や友人などが確認できる災害時専用のサービスです。
また、あらかじめ指定した家族や友人に対して、災害用伝言板に登録したことをメールでお知らせすることも可能です。

災害用伝言板(web171)
https://www.web171.jp

地域での防災活動

自主防災組織に参加しましょう

自主防災組織とは、「自分たちのまちは自分たちで守る」という、地域住民の自衛意識と連帯感に基づいて結成される防災組織のことです。お住まいの地域に自主防災組織があれば、積極的に活動に参加し、地域で防災訓練等の防災活動に取り組みましょう。

平常時	災害時
<ul style="list-style-type: none"> 防災知識の普及啓発活動 各家庭の安全確保 地域内の防災環境の確認 防災訓練の実施 防災機材の点検整備 	<ul style="list-style-type: none"> 情報収集伝達活動 初期消火活動 避難誘導活動 救出救護活動 給食給水活動

出前講座

萩市では、近年頻発する災害等に迅速に対応するため、防災の専門知識・経験を持った地域防災マネージャーを平成29年から設置しました。
地域の防災力アップを目標とした、防災出前講座に地域防災マネージャーが伺います。防災・減災や防災リスクについて地域防災マネージャーが詳しく解説します。出前講座の開催をご希望の場合は、防災危機管理課へお問い合わせください。

お問い合わせ 防災危機管理課 0838-25-3808

備え

非常持出品や非常備蓄品の準備

非常持出品	救急・安全対策用品	貴重品
<ul style="list-style-type: none"> 飲料 非常食(水を通さず食べられるもの) 粉ミルク等、哺乳瓶(赤ちゃんがいる場合) 歯磨きセット 	<ul style="list-style-type: none"> 持病薬 常備薬(胃腸薬、風邪薬) 傷薬、消毒液 包帯、ガーゼ、絆創膏 地図(ハザードマップ) 歯磨きセット 	<ul style="list-style-type: none"> 現金(小銭) 預金通帳、印鑑 クレジットカード 健康保険証 免許証など

必要ものを持ってだけ両手があくようにリュックなどに入れて用意しましょう。

非常備蓄品(最低3日、推奨1週間)

- 日頃の買い置き: 保存性のよい食料や水を買置きし、消費したら買い直す(ローリングストック法)
- 3日分以上の食料: 缶詰、レトルト食品、栄養補助食品、お菓子、調味料、スープなど
- 飲料水: 大人1人当たり1日2〜3リットル
- カセットコンロ・ガスボンベなど
- 缶切り
- ラップ

ローリングストック法: 買って置く、置いておく、消費する

風水害への備え

家の周りを確認しましょう

日頃から、台風や大雨時に備え、家の周りの点検や掃除をしておきましょう。

- 屋根の瓦のひび割れはがれはないか。
- 窓枠や雨戸にがたつきはないか。
- 壁に亀裂はないか。
- 雨どいに落ち葉などが詰まっていないか。
- 排水溝にこみや土砂が詰まっていないか。
- こみや腐り木などは室内に入れないか。飛ばされないように固定しているか。

家屋の浸水を軽減しましょう

ご家庭にある物を利用して、家屋への浸水を防ぎましょう。玄関などの出入口や、床下への浸水防止の対策を行いましょう。

ごみ袋による簡易水のう

ポリタンクに水を入れ、レジャーシートで巻き込み連結します。

プランターとレジャーシート

土を入れたプランターをレジャーシートで巻き込み使用します。

止水板

出入口は厚めの板などを使用し、浸水を防ぎます。

風呂の貯水

下水の逆流防止、生活用水としての利用などの利点があります。

トイレや洗濯機などの排水溝

水を入れたビニール袋を置いておく排水溝から逆流して汚水を防ぎます。